

文化財石垣保存技術協議会会報

平成29年（2017） 第18号 -平成29年度事業報告-

技能者養成研修（実技）・実地研修1

日 時 平成29年7月13日（木）～17日（月・祝）
場 所 天和採石場（兵庫県赤穂市）
受講者 技能会員11名、技術・研究会員4名、一般
会員1名、（講師9名、事務局1名）

研修内容

・石垣解体修理の流れ、平成27年度研修で積んだ
石垣の解体と復元、鍛冶技術および討論など



鍛冶研修



石積み研修



討論

会員の声

山口 猛（技能会員）

第1回以来の参加になりましたが、今回は石積み、石材加工、鍛冶工の3つの工程をローテーションすることなく、自分のやりたい分野を集中して研修できたので、このようなやり方もありかなと思います。

石材加工では、ルートハンマーだけではなく、チップングハンマーを使って矢穴を掘り、玄翁を使って石を割るという石の割肌によさしい仕上がりになり、こういう割り方もあるのだなと一人納得していました。

鍛冶工では、石を割るための矢穴を掘るノミ作りを、鉄をあたため、石頭で鉄をのばし、鉄の先をとがらして尖った先をヤキ入れと言う、石の硬さに負けない作業手順が入り、ノミ作りの奥深いところがちょっとは見れたのかなと思っています。そしてそのノミが本当に使い物になるのかどうか試し掘りが実践できたので、そこも良かったです。

今回指導して頂いた諸先生方、場を提供して下さい下さった業者さん、その他携わって頂いたスタッフの方々、本当にありがとうございました。

◇平成29年度総会が開催されました

日 時 平成29年7月17日（月・祝）
場 所 日本城郭研究センター大会議室
出 席 評議会会員7名、技能会員31名、技術・研究会員22名、一般会員9名、賛助会員2名、事務局2名
来 賓 市原富士夫 文化庁文化財部記念物課文化財調査官
山下史朗 兵庫県教育委員会文化財課課長
名村哲哉 姫路市教育委員会教育次長
記念講演 城郭石垣の「意匠」の歴史と多様性
宮武正登（佐賀大学教授）
主な議事 (1) 事務局長の交代
(2) 平成28年度事業報告

- (3) 平成28年度決算報告
- (4) 平成28年度監査報告
- (5) 平成29年度事業計画
- (6) 平成29年度予算案

平成28年度研修終了証書授与者
技能者養成研修（1名）

奥山 聖治	橘造園(株)
-------	--------



総会の様子



記念講演 宮武正登氏 佐賀大学教授

指導者養成研修

期 間 平成29年5月21日（日）、7月17日（月・祝）、
9月16日（土）



研修の様子

技能者養成研修（講義）・実地研修2

日 時 平成29年9月16日（土）～18日（月・祝）

場 所 唐津市民会館 中会議室
唐津市高齢者ふれあい会館 りふれホール
史跡唐津城跡・谷口石切丁場跡
（佐賀県唐津市）

受講者 技能会員14名、技術・研究会員7名、一般
会員4名、賛助会員2名
（講師11名、事務局1名）、

研修内容

日時	講習内容	講 師
9/16 (土)	選定保存技術と文化財の活用	市原 富士夫 (文化庁文化財部文化財調査官)
	近年の高松城における石垣修理の取り組み	高上 拓 (高松市埋蔵文化財センター)
	文化財石垣修復工事に伴う記録について	中野 浩幸 (技術・研究会員)
	谷口石切丁場跡の調査成果について	美浦 雄二 (唐津市教育委員会)
9/17 (日)	石垣変遷から見た唐津城の魅力	北垣 聡一郎 (評議会員)
	文化財調査から見た唐津城	坂井 清春 (唐津市教育委員会)
	土木調査から見た唐津城	木本 聖 (唐津市都市整備部)
	修理現場から見た唐津城	山下 公一 (技術・研究会員)
	パネルディスカッション	司会：田島 龍太（前唐津城天守閣館長） パネラー：北垣聡一郎、坂井清春、木本聖、山下公一
9/18 (月)	唐津城跡現地見学 → 谷口石切丁場跡見学	



研修の様子



中野 講師



山下 講師



唐津城跡現地見学の様子



谷口石切丁場跡見学の様子

会員の声

大西 裕一（賛助会員）

最初に今回の研修に参加させて頂き、関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。今回の研修での感想をいくつか書かせて頂きます。

①選定保存技術と文化財の活用

文化財保護法を基本から学ぶことができ、文化財の重要性を理解することができました。また今後の保存方法について会員の皆様の意見を聞くと、まだまだ課題が多く、自分自身とても考えさせられました。

②近年の高松城における石垣修理の取り組み

高松城の石垣修理について失敗事例を交えての講義、分かりやすく解体復旧への取り組み、特に再利用率向上のための取り組みで、3次にわたる再利用判定には感心させられました。2次判定の土木的調査、3次判定での仮積み試験など、関係者との協議により文化財を保護するという姿勢を参考にしたいと思います。

③文化財石垣修復工事に伴う記録について

私は普段、土木施工管理に従事し、この講義に特に興味がありました。記録の必要性は常々理解しているつもりですが、この講義を聞き、改めて必要性を認識しました。また金沢市が石材カード・調書を調査側、業者側と両方で作成していることを知り、とても参考になりました。

④唐津城について（唐津城大解剖他）

この町の象徴、唐津城を復旧しようと官民一体で取り組む姿に感銘を受けました。私は現場サイドの人間ですが、松本建設山下氏の講義を聞き、様々な問題を抱えながらもあきらめことなく協議を重ね、進んでいく姿を見て、今後施工業者の管理者の見本として参考にしていきたいと思います。

最後になりましたが、賛助会員が参加できる研修会は限られていると思いますが、できるだけ参加したいと思います。希望者が参加できるよう御配慮をよろしくお願いいたします。

『日本の技体験フェア2017～文化財を 守り続けてきた匠の技～』への参加

日 時 平成29年9月30日(土)・10月1日(日)
場 所 いつきのみや地域交流センター・さいくう
 平安の杜(三重県明和町)
参加者 技能会員4名、事務局2名、
内 容 協議会の活動紹介(パネル展示)、石工道
 具の展示、石割の実演・体験、石垣100選
 のポストカード配布



石工道具の展示と説明



石割体験



石割実演

■新規加入会員紹介(平成29年7月17日役員会審査)

会員区分	氏 名	所 属
技能会員	荒木 秀男	田部石材(株)
〃	枝 正弘	(株)栗田建設
※一般会員より 変更	小野 貴義	(有)小野石材店
〃	田部 哲朗	田部石材(株)
〃	三浦 大志	田部石材(株)
〃	吉村 忠彦	
	吉村 文圭	
技術・研究会員	坂井 清春	唐津市教育委員会
〃	杉原 賢治	備前長船刀剣博物館
一般会員	尾関昭之介	(株)竹中工務店
〃	星野 玲子	鶴見大学文学部
賛助会員	(株)庭の川島	

■入会手続き

入会申請の用紙は協議会のホームページから取り出すことができます。入会申請に必要な事項を記入のうえ、下記の事務局へご送付ください。

役員会にて会員資格審査後、入会通知書及び会費納入の振込用紙を送付します。年会費(4月～翌3月)をお振込いただき、事務局で正式に受理した日から本協議会会員として登録します。

■事務局からのお知らせ

事務局では「会員証明」の発行を行っています。業務などで必要な方は事務局まで発行をご請求下さい。

■文化財石垣保存技術協議会会員数

(平成29年10月31日現在)

技能会員	150名
技術・研究会員	100名
一般会員	36名
賛助会員	21法人
評議会員	10名
合 計	317名(法人含む)

発行年月日 平成29(2017)年10月31日
 編集・発行 文化財石垣保存技術協議会
 事務局住所 〒670-0012 姫路市本町68-258
 日本城郭研究センター内
 TEL 079-289-4877 FAX 079-289-4890